

平成25年度 スポーツ教材提供先募集のご案内

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)は、心身ともに健全な子どもたちの育成支援を目的として、スポーツ教材の提供を行います。

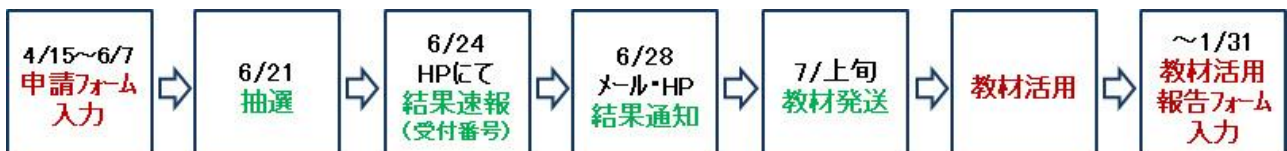
子どもたちがさまざまなスポーツに取り組む機会において有効に活用いただきたく、下記趣旨をご理解の上、専用フォームより申請ください。

< 記 >

- 目的 子どもたちが外で楽しく体を動かすきっかけとして教材を活用することで、スポーツ好きな子どもの増加、体力・運動能力向上、心身の健全育成を支援する
- 募集期間 平成 25 年 4 月 15 日(月)～ 6 月 7 日(金)
- 対象団体 運動神経が急速に発達する幼児から中学生を対象に「スポーツ機会を増やすための新たな取り組み」を計画している**120団体**(サッカーボール60団体、タグラグビーセット60団体)※昨年度100団体
保育園・幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、児童養護施設、教育委員会、体育協会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、スポーツクラブ・スクール 等
- 提供教材 サッカーボールまたはタグラグビーセットよりどちらかを選択 (総額約250万円相当)

(1) サッカーボール 5個セット	(2) タグラグビーセット
	
3号球: Adidas カフサ ルシアードソフト 4号球: Adidas カフサ ジュニア290 5号球: Adidas カフサ ルシアード	・ギルバート タグボール 5個 (デザインはYMFS仕様となります) ・ギルバート タグベルト 20組 (80cmまたは105cvm) ・タグラグビー公式BOOK 1冊 (希望する場合)

- 申請方法 「スポーツ教材申請フォーム」に入力 <http://www.ymfs.jp/> ※活動する団体単位で申請ください
- 審査方法 6月21日(金) 第三者による厳正な抽選にて提供先を決定
- 結果発表 6月24日(月) 13時 申請時に発行する受付番号にてホームページに抽選結果を速報します
6月28日(金) すべての申請団体へメールにて結果を通知するとともに、提供が決定した団体を当財団ホームページに掲載します
- 教材発送 提供が決定した団体宛、7月上旬発送予定
- 報告事項 教材提供先の団体は、平成26年1月31日までに教材活用実績を報告(写真添付必須)
- 申請から報告までのながれ



この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・平塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112

※注意事項

必ず下記項目をご理解の上、申請ください。

- (1) 幼児から中学生を対象に「スポーツ教材の活用やスポーツ機会を増やすための新たな取り組み」を計画している団体に役立てていただくことを願い実施しています。
申請時には、「申請目的、現状の課題とその実現に向けた具体的内容・手法・実施スケジュール」について記入ください。内容が不明確な場合には、申請が無効となる場合があります。
- (2) 申請は1団体につき1件です。同一団体からの申請が複数あった場合は、最新の申請のみを受け付けます。
- (3) 申請後の連絡は、主に電子メールを通じて行います。確実に連絡可能なメールアドレスを記入してください。
- (4) 教材提供先に決定した団体には、平成26年1月31日までの活用実績について必ず報告していただきます。
報告された内容は、提供教材の活用実績として当財団の年間事業報告書に掲載します。
また、教材の活用実績について、当財団ホームページに「活用事例レポート」として掲載するため、取材協力をお願いをする場合があります。
- (5) 教材の破損等に伴う修理や部品等の補充は、使用団体の責任でお願いします。

【参考】

スポーツ教材活用事例紹介

平成24年度の提供先団体では、学習指導要領で取り上げられている「ゴール型ボール運動」や、「さまざまなスポーツ機会への取り組み」において活用いただきました。活用報告より一部の事例をご紹介します。教材を工夫して活用することによって、子どもたちの体力・運動能力の向上や意欲・向上心の喚起、そして、協調性や相手を思いやる心など、心身両面において成長していく姿がうかがえました。

総合型地域スポーツクラブ「フォー遊クラブ」（京都府長岡京市）	提供教材：サッカーボール
陸上教室にサッカーボールを取り入れて単調な練習にメリハリと楽しさを。 サッカーボールを使ったゲーム感覚のリレーで俊敏性と闘争心を養う	
陸上の練習は比較的単調になりぎみで、集中力を保ち続けるのが難しい子どもたちに、楽しくメリハリを持って練習に臨んでもらうため、ボールを使った遊びを採り入れたいと教材提供に応募。闘争心を養うとともに、スタートダッシュの瞬発力を鍛えるため、サッカーボールを使ったりレーを練習に取り入れて実施している。 ボールに反応する機敏性は確実に高まっており、身体を有効に使うようになった。何よりも楽しく練習するという基本を支えている。陸上教室に参加したいという子どもたちも少しずつ増加している。	
学校法人徳風学園早苗幼稚園（京都府八幡市）	提供教材：タグラグビーセット
色々な種目を経験させたいとの思いから、新たな球技“タグラグビー”に挑戦。 発達段階に合わせた多彩なカリキュラムの採用で、子どもの心身育成を図る	
スポーツ教室でさまざまな種目を経験させたいと考えている中で、タグラグビーは取り組んだことのない新しい種目。独特な形のボールは、敏捷性育成に役立てられそうだと考え、初めて挑戦。タグラグビーを通して、楽しみながら自然と運動量も増え、協調性や相手を思いやる心も育まれている。 年齢、性別、体格差、体力差に関わらず、みんなが一緒に楽しめ、サッカーやポートボールなど別の種目では活躍できなかった子が、タグラグビーでは驚くような動きを見せて活躍し、充実した表情を見せてくれる場面が何度もある。	